

令和8年度 東区まちづくりの取組



(案)

区における自主自立のまちづくり【熊本市第8次総合計画】(以下「市総合計画」)

めざすまちづくり

「少子・高齢化や人口減少が進捗するなか、持続的な地域社会を維持するためには、あらゆる性質が「つながり、お互いが助け合い、支えあう住民主体の地域コミュニティ」がより重要となっています。そのために、住民に最も身近な行政機関である区役所は、区長と住民との直接対話の場を持つほか、各区のまちづくりセンターに配置する地域担当職員が中心となって積極的に地域に飛び込み、地域の実情や多様なニーズの把握に努めます。そして、住民、事業者等の多様な主体と事業担当部局間の連携を図りながら、地域に寄り添い、地域と一緒に課題の解決に取り組むなど、住民自らの創意工夫による自主自立のまちづくりを支援します。

まちづくり支援の方針

- ① 地域の魅力をいかした特色あるまちづくりを推進します。
- ② 住民同士が「つながり、支え合える環境づくり」と、地域で活動する個人・団体、多様な主体の連携を促進します。
- ③ 住民が地域活動に参加しやすく、また、生きがいがあるような仕組みを作ります。
- ④ デジタル技術を活用することで、地域の課題解決や魅力向上を図り、暮らしやすく、持続可能なまちづくりを推進します。

上記の方針に基づき区の特性を踏まえ、めざす区の姿の実現に向けて以下のまちづくりに取り組みます

めざす区の姿 自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区

取組 1

【人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち】

- ✓ 地域コミュニティ活動への参加促進
- ✓ 地域団体の育成・支援
- ✓ 地域の歴史・文化の活用



➤ロビーのスペースを有効活用で、多世代間のコミュニティ派生を促す

取組 2

【誰もが安全で安心して過ごせるまち】

- ✓ 防犯活動の推進
- ✓ 交通安全対策の推進
- ✓ 災害に強いまちづくり



➤地域住民が実施する地域防災力向上の取組を支援

取組 3

【誰もがいきいきと暮らせるまち】

- ✓ 健康づくり活動の推進
- ✓ こどもの育成環境づくり
- ✓ みんなで助け合う福祉のまちづくり



➤区民の健康意識の向上につながる取組等を実施

取組 4

【美しい自然を守り育てふれあえるまち】

- ✓ 地域自然の保全と活用
- ✓ まちの美化活動の推進



➤適正なごみステーションの維持管理を啓発

取組 5

【暮らしやすく活気あふれるまち】

- ✓ 地域に根ざした経済の活性化
- ✓ 生活環境の整備促進



➤高校生による東区を活性化させる事業の企画

令和8年度 まちづくり推進経費に係る事業

まちづくり支援の方針 (市総合計画)				事業名	事業概要
①	②	③	④		
【人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち】					
○	○	○		1 地域力パワーアップ大作戦	地域課題の解決を図るとともに、地域コミュニティを活性化させるため、地域団体等と地域貢献したい事業者等をつなぐ(マッチング)するための取組を実施する。また、マッチングの優良事例の表彰制度を創設する。
○	○			2 東区地域コミュニティづくり支援補助金	地域団体等が行う地域コミュニティの活性化や地域課題の解決に向けた取組に対し活動費の一部を助成することで、地域団体が主体的に取り組む地域のコミュニティづくりを支援する。
			○	3 地域の情報ネットワーク利活用支援事業	地域団体にICTの有用性を周知するとともに、自治会長や役員、ICTに関心のある地域住民を対象としたICT活用の研修を実施することで、地域の情報発信力の向上や持続可能な地域活動の担い手の育成等につながる。
○				4 あさひバリエーブル(地域交流スペース)活用支援事業	多世代の地域住民が利用するまちづくりセンターの特性とロビーのスペースを有効活用し、多世代間の交流を生み出すワークショップを開催する。
○				5 【新規】たぐまスクエア(多世代交流スペース)事業	地域における新たなつながりや活動の創出を図る等のため、ロビーにある多世代交流スペースで、地域の企業等を講師として迎え、様々なテーマで年間12回程度、講話や体験会を開催する。
○	○			6 【新規】文化的処方「商店街の美術室」	住民が健康で幸福に暮らす力を育むため、アートの方で地域と人をつなぐ新しいアプローチとして、東京藝術大学と連携したアーティストによる健康商店街の店舗等を活用した「文化的処方」を実施する。
【誰もが安全で安心して過ごせるまち】					
○				7 災害に「そなえる」タスク	各コミュニティで取り組む防災活動について、3種の区役所タスクにより防災力アップを応援し、災害に備えてもらうとともに、熊本地震を風化させないまちづくりを目指す。
○				8 あさひびんどの防災フェスタ開催事業	体験型のブースを設けた防災フェスタを開催し、住民が楽しんで防災を学ぶ機会を創出し防災意識の向上を図る。
○				9 安全安心のまちづくり事業	高校生と共に交通安全の啓発動画を制作しSNSで発信することで、若い世代に効果的に伝えるほか、広報車等で防犯・交通安全を呼びかけ、安全安心なまちづくりの実現を図る。
【誰もがいきいきと暮らせるまち】					
○				10 子育て支援ネットワーク活性化支援事業	安全で安心して子育てができるまちづくりを推進するため、区や校区単位の子育て支援ネットワーク活動や地域の主体的な子育て支援活動への支援を行う。
○				11 地域ささえあい推進事業	認知症の人とその家族への理解を深めることにより、地域住民による支え合いを推進する。また、自らの健康状態に応じて自分の力を生かし社会生活を送る意識の浸透を図る。
		○		12 東区健康まちづくり推進員支援事業	東区の健康まちづくり活動を活性化し、東区住民の健康意識を醸成する等のため、東区の健康まちづくり活動を推進する人材(健康まちづくり推進員)を育成し、その活動を支援する。
○				13 【新規】多文化共生のまちづくり事業	増加する外国人住民と地域住民の異文化理解を促進するため、公民館講座等を活用し、日本の伝統文化紹介イベントや熊本郷土料理作り等を地域と一緒に楽しめる企画を実施する。
【美しい自然を守り育てふれあえるまち】					
○			○	14 Instagramによる地域活性化事業	東区公式Instagramを活用し、特に10～30代半ばの若い世代へ東区の魅力を発信することで、東区への愛着や郷土愛を育み、まちづくりへの関心を高める。
○				15 美化活動啓発事業(ごみステーション)管理啓発	区内の小学生を対象に地域のごみ問題の解消の啓発ポスター作品を募集し、まちづくりセンター等に展示することで、区民にごみステーションの適正管理の重要性を認識してもらう。
【暮らしやすく活気あふれるまち】					
○				16 若者まちづくりリーダーズ事業	高校生などの若い世代に地域を活性化させるまちづくり事業を企画してもらい、自身も地域の一員であることの自覚や地域への郷土愛を育む。
○	○			17 まちづくりリーダーのたね授業	モデル校区を選定し、子どもが大人とともに地域課題の解決(検討・実施)に取り組み、将来の地域づくりへの参画(リーダー等)の実現や世代間交流による地域の活性化を推進する。
				18 まちづくり懇話会等開催経費	東区の特性を活かしたまちづくりを推進するため、東区で様々な分野で活躍する方々から意見を聞く懇話会を開催するほか、区長が区民の方々と対話する場を設ける。
				19 東区地域活性化支援事業	時勢等により発生した地域課題のため迅速、柔軟に事業等を立案し、地域の活性化を図る。